

平成 25 年 5 月 9 日

欧州訪問報告書

長崎市議会議員 奥村 修計

平成 25 年 4 月 14 日～4 月 25 日まで、市民友好都市提携の目的及び核不拡散条約(NPT)再検討会議第 2 回準備委員会への参加の為に、市長、議長、同僚議員と共にヨーロッパへ出張致しましたのでその概要についてご報告致します。

●ヴェルツブルグ(4 月 16 日～4 月 18 日)

市民友好都市提携の調印の為、ドイツ連邦共和国ヴェルツブルグ市を訪問致しました。

○シーボルト博物館

まず、シーボルト関連史跡観察についてはシーボルト協会理事長ウド・バイライス氏の説明を受けながら市内関連史跡を見学し、意見交換を致しました。

また、長崎市シーボルト記念館と友好博物館を提携しているシーボルト博物館を視察致しました。私は 1996 年友好提携調印式に訪問致しておりますので、特にシーボルト協会前理事長ウォルフガング・クライン・ラングナー氏との再会に深く感動致しました。今回の市民友好都市提携に大きく貢献いただいたウド・バイライス理事長をはじめ、シーボルト協会の皆様との意見交換交流を深めることができました。

○市民友好都市提携調印式

ヴェルツブルグ市役所において、市民友好都市提携の調印式が執り行われました。

調印式には、ゲオルク・ローゼンタール、ヴェルツブルグ市長、中根猛(なかねたけし)駐ドイツ日本大使、コンスタンチン・フォンフランデンシュタイン・ツェッペリン伯爵(シーボルト協会顧問・シーボルトから数えて 5 代目にあたる子孫)、前シーボルト協会理事長ウォルフガング・クライン・ラングナー氏、田上長崎市長、議長、市議会議員、ヴェルツブルグ大学へ交換留学生として派遣されている長崎大学医学部生 3 名皆様調印式にお立ち会いいただき、今後シーボルトが繋ぐ両市の歴史的縁を、未来へ繋ぐ関係が樹立されました。

私はこの場にてシーボルト 5 代目子孫ツェッペリン氏と 3 度目の再会が出来ました。この事は私が昭和 39 年 9 月議会から始まり、シーボルトに関する質問を行いました。鳴滝熱の復元構想シーボルト記念館建設等繋ぐ 5 年間の質問に対し当時の本島市長が市政 100 周年事業としてシーボルト記念館が完成致しました。その落成祝賀の席でシーボルト 5 代目子孫ツェッペリン氏との出会いがあり、今回再会出来ました。今後とも両市の友好親善がより深まります事を祈念致します。

●モナコ(4 月 19 日～4 月 21 日)

夜景を通じた友好関係を推進する為に長崎と共に世界新三大夜景に選ばれましたモナコ公国を訪問致しました。

モナコは2010年に実施された調査では公国人口はモナコ国籍の人は約7,600人、総人口は36,000人となり内78%以上が外国人となっています。(フランス人は人口の28%を占めている)国土面積は2.02km²(バチカンに次いで世界第2位の小国)

都市の形成は、長崎と疑似しており、港を斜面が囲むような形で街が形成されています。豪華な港のヨットハーバーにはクルーズ船による観光などが大きく伸びていて2011年に214停泊、285,000人の乗客を記録するなど多様化された近代化的な観光産業となり、活発な経済を目指し医療分野は大きく成長し約2,800人を雇用するなど医療提供を強化しています。

また、地中海の宝石と呼ばれる港を見下ろす夜景や、宮殿や教会の建造物のライトアップも大変美しく情緒がありました。アンリ・フィツソール首相付国務大臣と歓談を行い、ローズモナコ観光会議局長(観光大臣)からモナコのプレゼンテーションを受け意見交換を行いました。モナコ側から提案があり、長崎市がモナコと共に世界新三大夜景に認定された事を記念して長崎市に「名誉証明書」が交付されることとなりました。この証明を基に今後夜景を通じて連携を図ることが確約されました。

また、クラウヴェラン設備環境都市計画省局長から環境対策、港湾整備に関するプレゼンテーションがあり、意見交換を行いました。

次にブズピース・アンド・スポーツ事務局長よりモナコのスポーツを通じた平和に貢献活動の紹介があり、意見交換を行うなど大変参考になりました。

今回のモナコ訪問では、長崎市とモナコ側によってアテンドされるなどテレビ取材等を含め国を挙げての大きな歓迎を受け今後の交流の大きな足掛かりとなりました。

●ジュネーブ(4月22日～4月24日)

2015年NPT再検討会議第2回準備委員会や関連会議に参加致しました。会議の中で、核兵器は「遺伝子標的兵器」であり、「核兵器のない世界」を実現することが、国際社会の永続的な安全を保障するものである事を核軍縮専門家や各国政府代表が今こそ力を終結すべきだと呼びかけました。

その後「核兵器の非人道性」に関する共同声明を発表した件に関連して市長、議長、議員団、ナガサキ・ユース代表、松井広島市長らと共に軍縮会議日本代表部を訪問した際に天野大使に賛同するよう要請して参りました。

このほか、準備委員会の傍聴をはじめ、国連欧州本部における常設展示にご協力いただいたチクバイゼ国連図書館長やトカエフ国連欧州本部部長を表敬訪問致しました。

また今回は長崎県と長崎大学、長崎市などで作る「核兵器廃絶長崎連絡協議会」の事業としてはじめて「ナガサキ・ユース代表国」を派遣したことから、天野大使とユース代表団との連携した活動も行われました。

今回の欧州訪問したドイツ・ヴェルツブルグ・モナコ・ジュネーブ以上3カ国における所見を説明いたしました但し詳細につきましては別紙添付資料の通りです。